

2022年度卒業生アンケート調査(結果)

このアンケートの目的は、学生が本学での学びを経て、どのような知識・能力を伸ばさせたかを可視化するとともに、大学内容への満足度等、卒業時点における本学に対する評価を把握することにあります。

1 回収率

学科	卒業生数	回収数	回収率
総合機械/製造	93	86	92.5%
建設	160	148	92.5%
計	253	234	92.5%

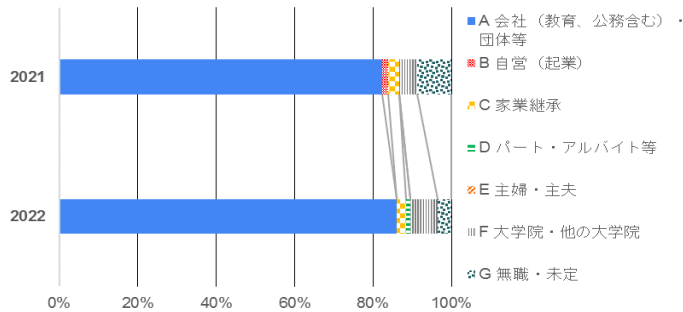
* Web方式導入後の回収率

年度	総機/製造	建設	計
2019	56.2%	54.3%	53.8%
2020	67.1%	64.0%	65.0%
2021	70.8%	70.0%	70.3%

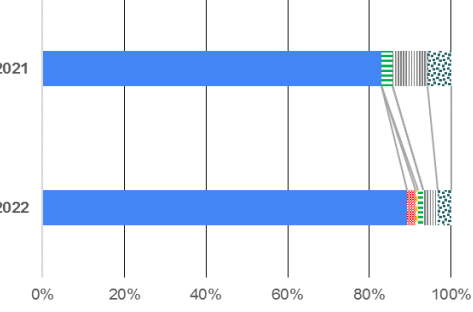
2 アンケート結果

Q1 卒業後の進路は次のどれに該当しますか

Q1 総合機械/製造

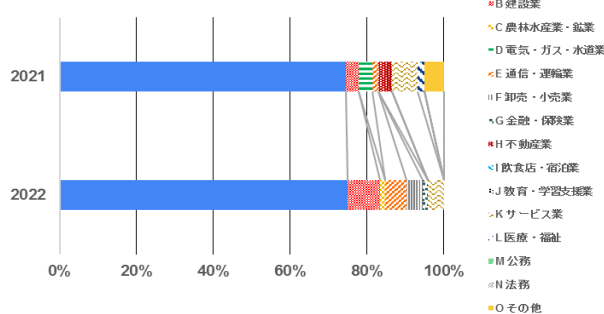


Q1 建設

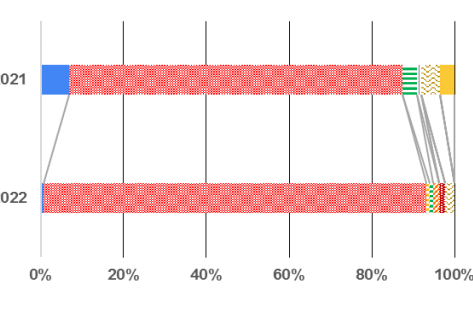


Q2 卒業後の仕事の業種は何ですか

Q2 総合機械/製造

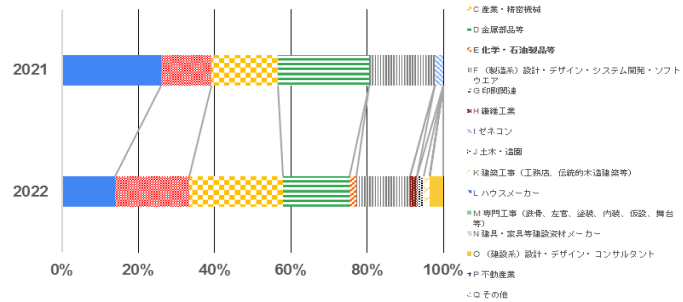


Q2 建設

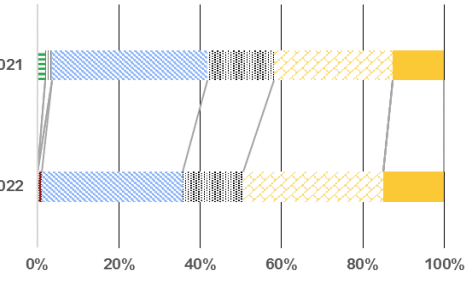


Q3 次のうち、該当する業種は何ですか。

Q3 総合機械/製造

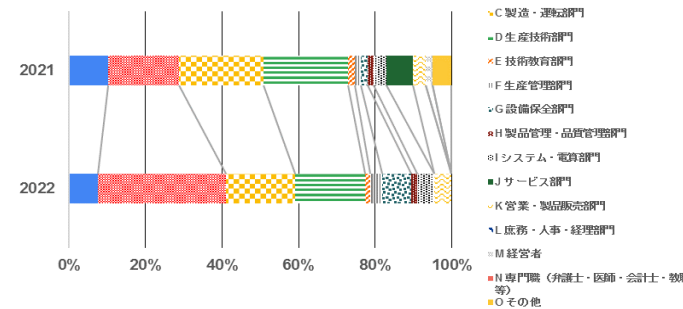


Q3 建設

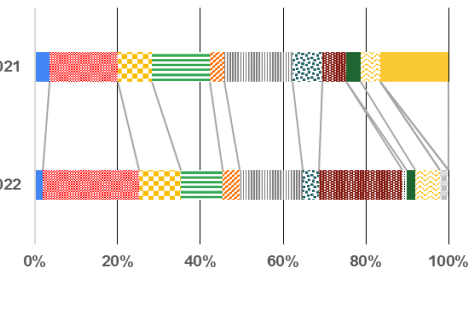


Q4 卒業後の仕事の業務内容は何を予定していますか。

Q4 総合機械/製造

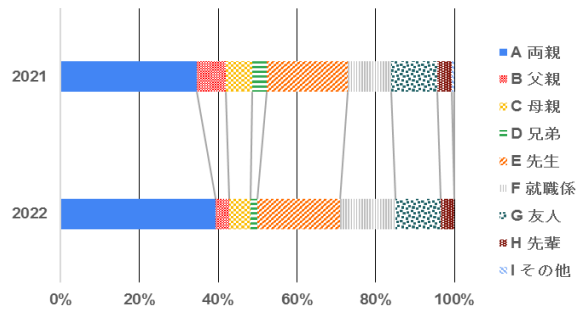


Q4 建設

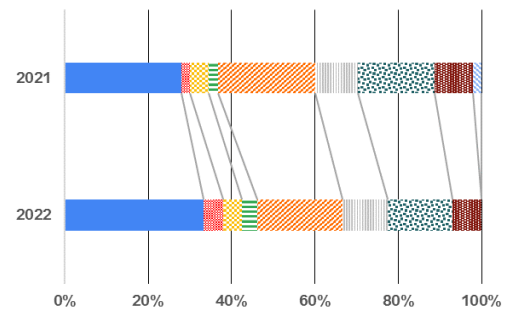


Q5 卒業後の進路について誰に相談しましたか。(複数回答可)

Q5 総合機械/製造

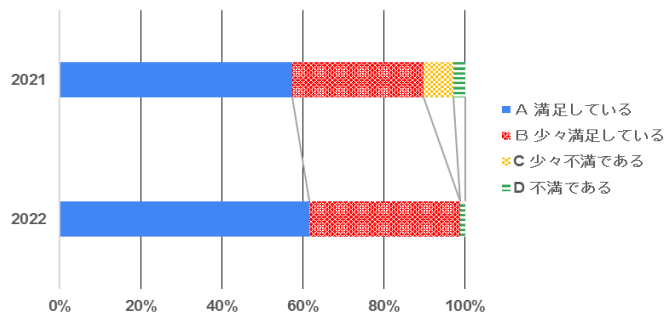


Q5 建設

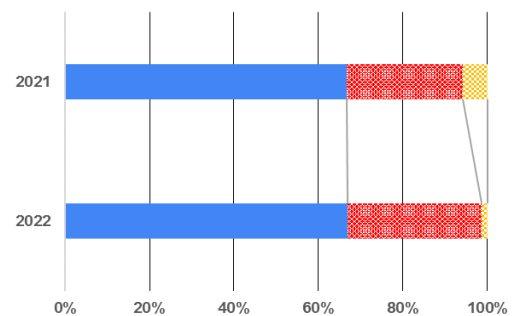


Q6 現時点（卒業時）の満足度はどうですか

Q6 総合機械/製造

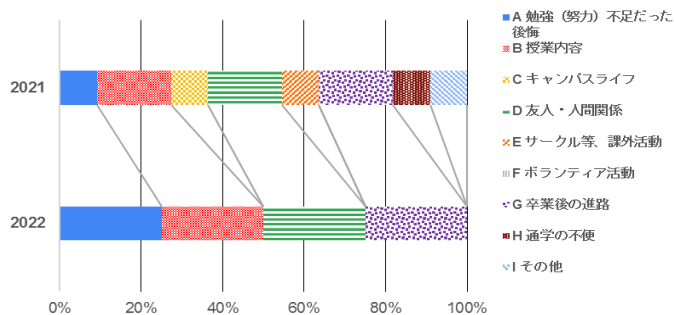


Q6 建設

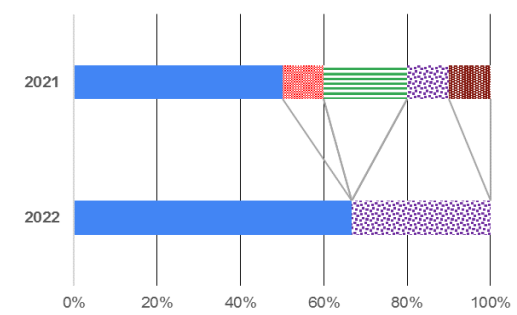


Q7 不満の要因は何ですか。（複数回答可） * Q6で「少々不満である」「不満である」回答した総合機械/製造1人、建設2人の回答

Q7 総合機械/製造

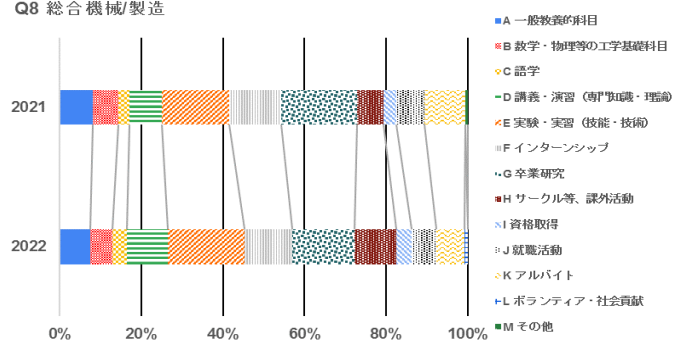


Q7 建設

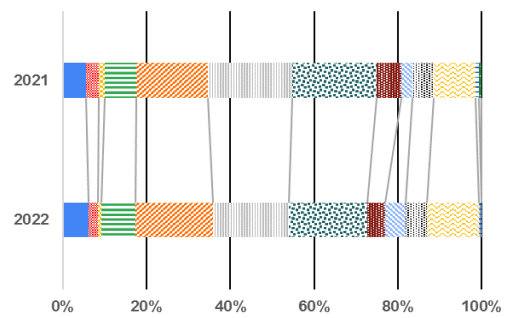


Q8 大学在学中にも最も熱心に取り組んだことは何ですか。(複数回答可)

Q8 総合機械/製造

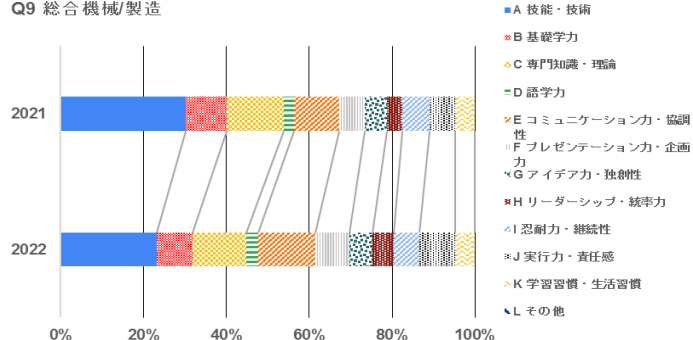


Q8 建設

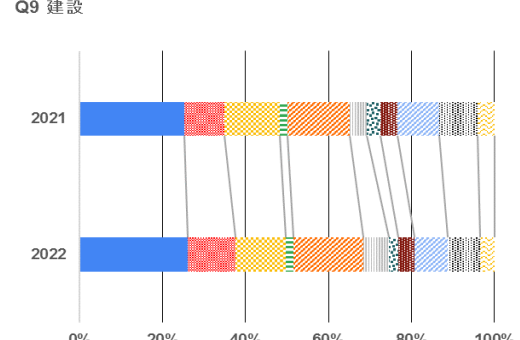


Q9 大学在学中に最も身についた能力、あるいは将来役立つと思う能力は何ですか。(複数回答可)

Q9 総合機械/製造

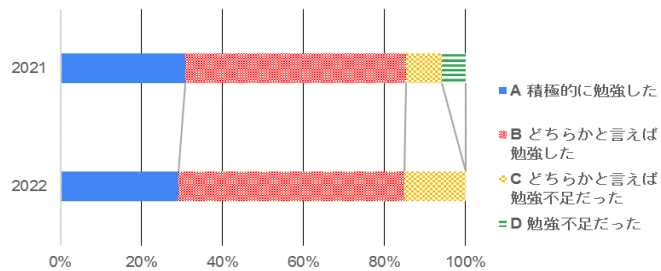


Q9 建設

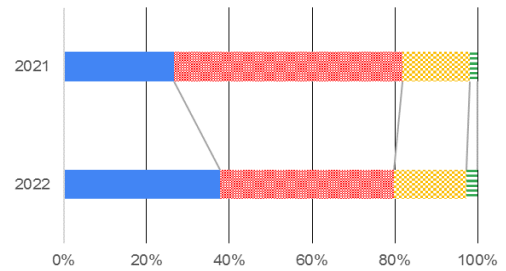


Q10 大学在学中の授業、勉強への姿勢はどうでしたか。

Q10 総合機械/製造

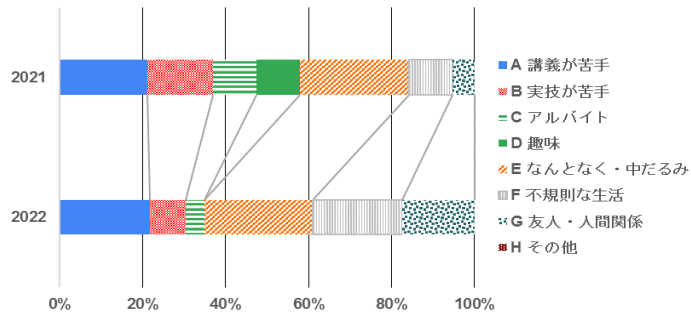


Q10 建設

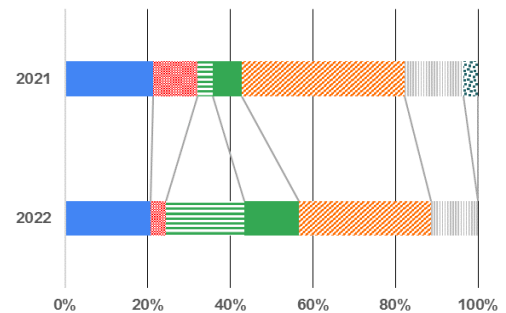


Q11 勉強不足だった理由（きっかけ）は何ですか。（複数回答可）

Q11 総合機械/製造

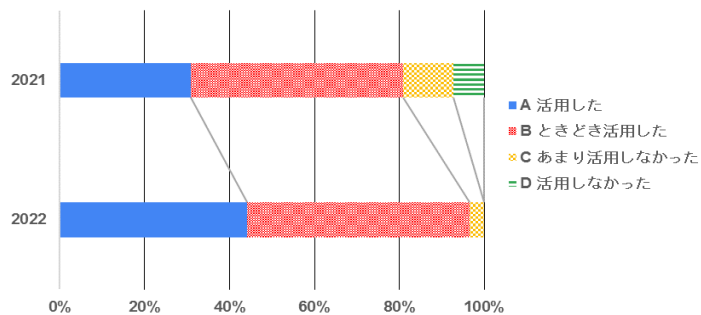


Q11 建設

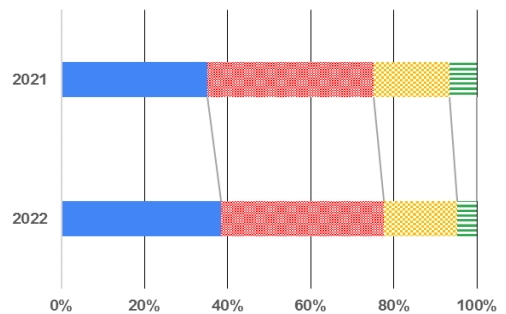


Q12 シラバス・履修要項の活用について

Q12 総合機械/製造

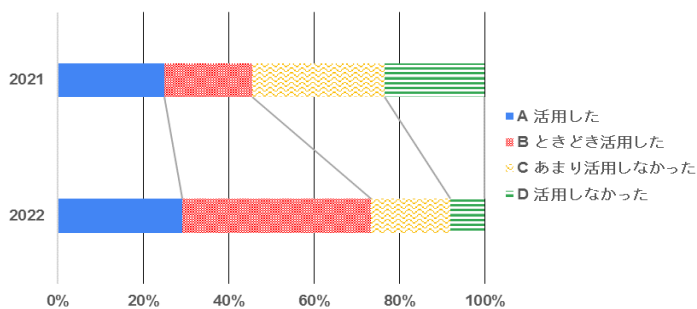


Q12 建設

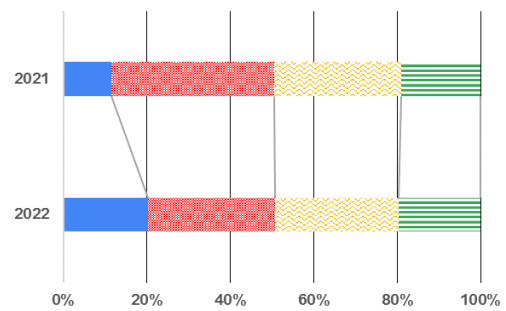


Q13 学生生活ガイド(学生便覧)の活用について

Q13 総合機械/製造

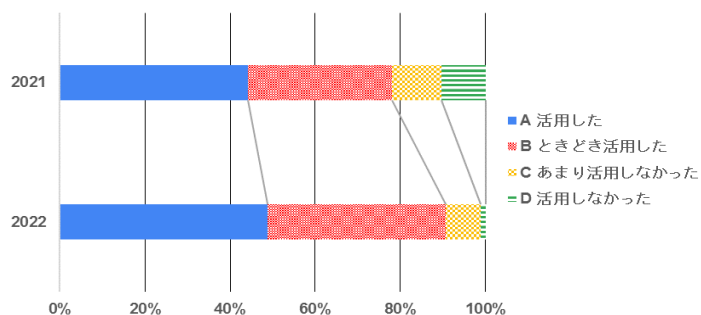


Q13 建設

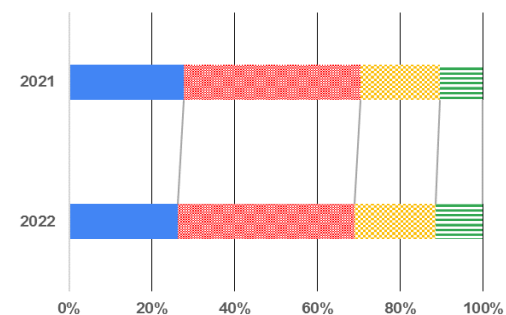


Q14 本学のホームページの活用について

Q14 総合機械/製造

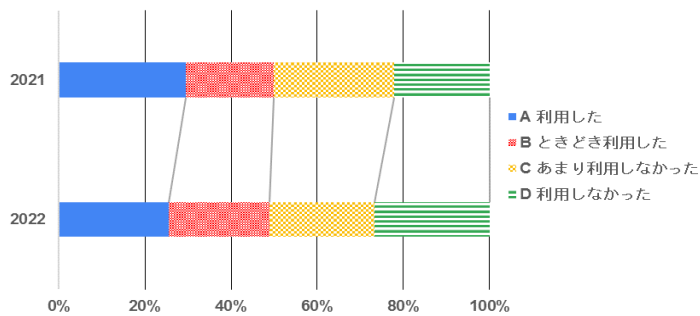


Q14 建設

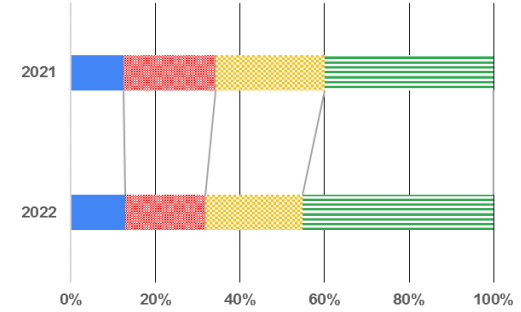


Q15 学生相談（ふれあいルーム、担任・先生、事務窓口等）について

Q15 総合機械/製造

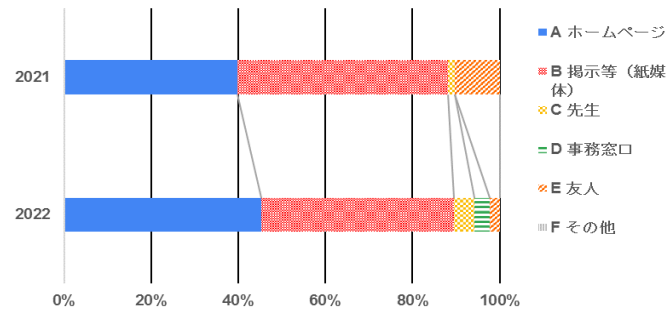


Q15 建設

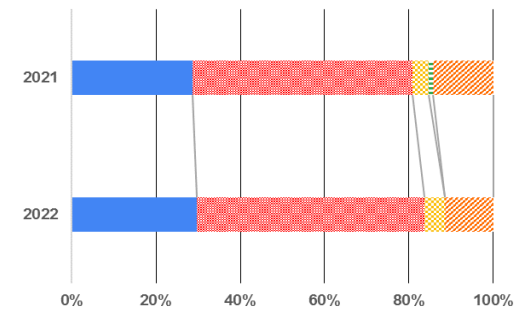


Q16 大学在学中、履修登録期間や講義情報、行事日程等の情報を何から得ていましたか

Q16 総合機械/製造

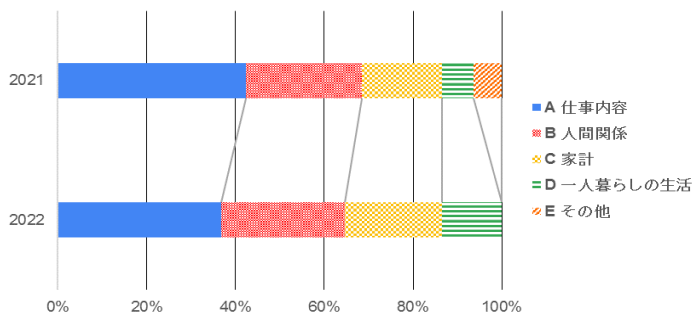


Q16 建設

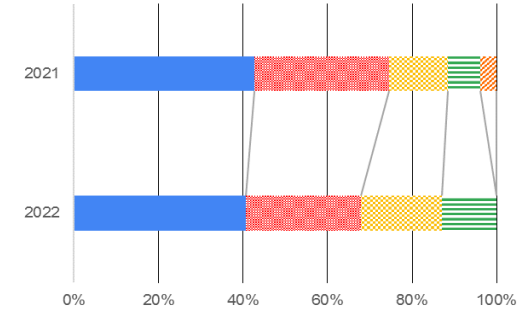


Q17 現時点（卒業時）の不安は何ですか（複数回答可）

Q17 総合機械/製造

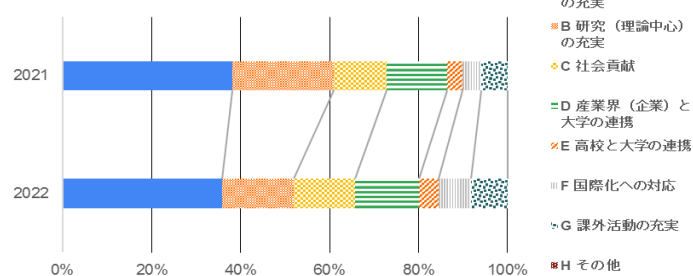


Q17 建設

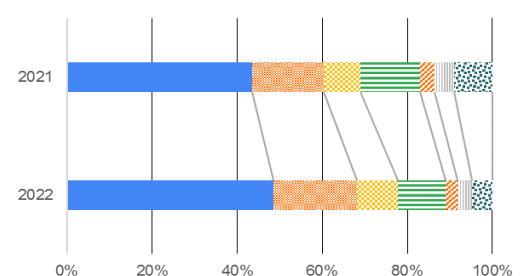


Q18 本学の特徴として期待することは何ですか。(複数回答可)

Q18 総合機械/製造

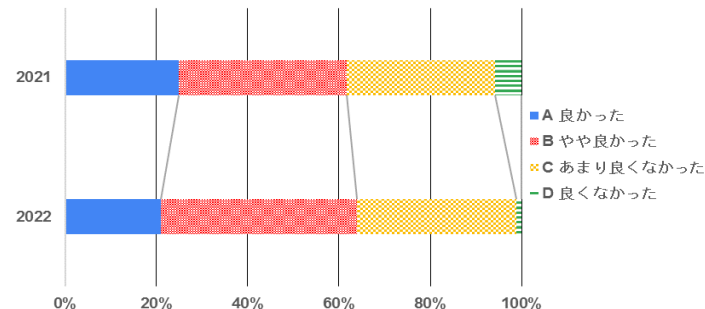


Q18 建設

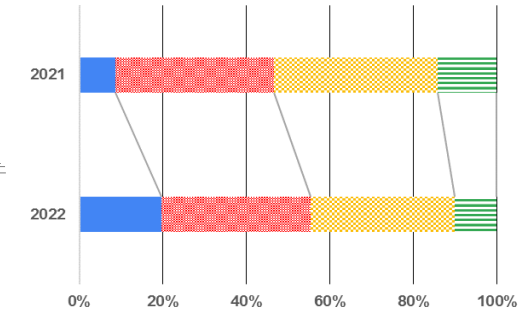


Q19 2021年度から実施した1クォータ7回授業、100分授業について

Q19 総合機械/製造



Q19 建設



Q20 Q19で回答した理由をお聞かせください。

A 「良かった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・講義回数が減って楽だった。
- ・100分が増えたことでより知識を得ることが出来たからです。
- ・授業の内容が濃くなった。
- ・1回の授業時間が長いと、実習の課題が進めやすかったと感じたため。
- ・まとめて学べた。

【建設】

- ・学びたい内容を充分学べたから。
- ・実習で使える時間が多いから。
- ・正直体感的には90分も100分もあまり変わらないので、単純に授業回数が1回減るのはありがたかったし、祝日もちゃんと休みになったのが嬉しかった。
- ・濃い内容の授業になった。
- ・専門分野についてより深く知ることができた。

B 「やや良かった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・7回授業になったので、補講期間が伸びたため、他の事に使える時間が増えたことは良かった。しかしながら、100分授業になった事により、4時限目などの授業終了時間が遅くなり帰宅が遅れるようになった。
- ・実習の時間が増えることは良かったと思う。
- ・休みの日が多くなるため良い。しかし、100分ぶっ通しの授業だと集中力が低下する。また、7回しかないと思うと少ないと感じた。新入生は高校を卒業していきなり100分7回授業だとギャップが大きすぎて大変ではないかと思った。
- ・途中からの変更だったので今までの感覚が残り大変だったが、一コマあたりの演習時間は、ちょうど良くなったと思う。
- ・特に90分授業を実施していた時期と比較し、特筆すべき変化を感じなかったという点。

【建設】

- ・授業時間が伸びたことで一度に学ぶことができる量が増えた。
- ・授業時間が、延長されたのでいいと思いました。1限が早くなってしまって、確認していない人が遅刻しているところも見たので、開始時間はそのままでもいいと思いました。
- ・長時間の授業のため、教わった内容を理解するところまで学べる。
- ・途中から授業時間が変わって、少し戸惑った。入学当時から100分授業ならよかった。
- ・休み時間が切りのいい時間から始まるようになった帰宅時間も17時と企業と近くなったため習慣がみつく。

C 「あまり良くなかった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・90分授業でも4限続くと最後のほうは体力や気力が尽きかけていたが、100分授業になると、各授業の終わりのほうで集中できない状態になっていた。又、90分授業のときと100分授業のときを比較しても授業1回分で扱う範囲が特に増えたように感じることもなく、感覚的には全8週の授業の時のほうが濃い内容の授業が多かったと感じる。
- ・多くの講義で内容が圧縮、または一部削除せざるを得ない状況となり、以前より内容が不足した。特に実技においては、教員やSA・TAによる事前準備が必要で単純に時間が同じだけでは実施することが難しい内容が多かった。
- ・教授も伸びた時間を持て余していて、生徒も十分に集中出来ていないと感じたから。
- ・授業が長く、後半は集中力が切れてしまったため。
- ・途中で授業が切れたり、圧縮され薄くなってしまっている。

【建設】

- ・8回90分に比べ約20分ほど時間が短くなっているなのでその分学ぶことができたのではと考えてしまう。
- ・時間が必要な講義や実習は全然問題ないが、割と早い時間で終わる講義の時などは無駄な時間があるなと感じた。
- ・授業時間が長く、集中力が続かない。
- ・座学では集中力が持ちませんでした。実技系はのびのびできて大変良かったです。
- ・授業を急かされている感じがして、しっかり身につけていない気がした。

D 「良くなかった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・授業内容が凝縮されるので、一回の内容が多い授業時間に対して集中力がもたない。

【建設】

- ・90分から10分増えたところで1日あたりの作業に大きな差が出来ないから90分×8の方が実習などはやりやすかった。
- ・10分伸びて何か変わった気がしない。
- ・実習科目に関しては授業時間の延長はありがたかったが、講義に関しては前の制度がちょうどよかった。
- ・集中力が切れる。
- ・授業日数が減ったことより段取りがかわってしまったため。

Q21 今後のものづくり大学に期待することは何ですか。（全回答）

【総合機械/製造】

- ・知名度。
- ・学生活動の支援(支援金とか)を手厚くして欲しい。
- ・専門知識をちゃんと学べること。
- ・活動をもっと増やすと良いと思います。また、いろんな高校と連携して行くと良いと思います。
- ・産業界に貢献できる人間の育成。
- ・機械を新しくして欲しい。
- ・受講内容などが変化しないこと。
- ・(いい事での)知名度向上と、建設学科ではない(現情報メカトロニクス学科)の名前とカリキュラムの安定。
- ・更に留学生も増えてほしいです。
- ・技能についてもっと詳しく身に付けたい事です。
- ・施設の充実。
- ・実技面をもっとやらせてほしいです。
- ・2年生も学校の寮を借りられることを望んでいる。
- ・情報部門の座学を増やす。
- ・情報を強く推しているが製造関係もしっかりアピールするべき。
- ・通学の利便性。
- ・自由な発想。
- ・学校の名前を漢字系にして欲しい。
- ・実務教育。
- ・実技、実習が苦手で、人付き合いが苦手だと孤立しそうになるのでサポートがあればよいと思いました。
- ・実技、実習以外の科目座学をもう少し増やしてほしいと思いました。
- ・物作りに対する情熱がある人員の確保。
- ・自分で動ける学生の養成。
- ・もっと教育質が上がること。
- ・芸術的教科増やして。
- ・設備の充実化（紙申請ではなくウェブ申請で講義室使えたり、24時間いつでも使える部屋の設置、など）
- ・ホームセンター棟の周辺施設が近くに欲しい。
- ・大学の知名度を高めてほしい。
- ・実習授業。
- ・技術力などを生かした地域への貢献。
- ・更なる社会貢献力の向上とname valueの向上（例えて言えば名称のブランド力の向上）。
- ・設備。
- ・実技実習。
- ・製造業に即戦力の人材を排出すること。

- ・ インターンシップ。
- ・ 社会貢献。
- ・ 学業以外の充実。
- ・ 汎用機を用いた実技授業の充実や実技と勉学の繋がりをより意識できる授業を期待します。

- ・ 精力的に活動する学生やプロジェクト、サークルについて高頻度に取材し、小分けで情報発信することで、学生の意欲が維持され、学外からの注目も得られると考える。プロジェクトやサークルでイベントに参加する直前は、製作活動や準備に追われ自ら情報発信できる余裕がないことが多いように見える。又、学内の設備の利用に関して、独自の免許制度を整備し、利用料を払うことで卒業生や周辺住民等も利用できるような環境を整えると、プロジェクトやサークルの先輩後輩が対面する機会、情報交換の機会がより多く生まれるのではないかと考える。
- ・ 運動会があれば、嬉しいです。
- ・ 学問のレベルもう少しアップできればいいなあと思います。
- ・ 学生さんと大学のコミュニケーションをもっと取りたい。
- ・ よりレベルの高い講義が行われること。
- ・ 他大学では行わない技術の習得。

【建設】

- ・ 授業内容の充実性の向上。
- ・ 実技技能教育。
- ・ 実技をより充実させ、実践力のある人材が増えることを期待します。
- ・ 実技科目を今後も続けてもらいたい。
- ・ 知名度の向上。
- ・ もっと大きい大学にしてほしい。
- ・ 実習を増やしてほしい。
- ・ 部活を作って全国とかでほしい。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 名前の改善 やっていることは素晴らしいのに名前がひらがなのせいで世間から揶揄される。
- ・ コミュニケーション力を高める場を設けてあげて欲しい。
- ・ 多くの技術者を産むこと。
- ・ コロナ禍が過ぎたら、碧連祭をして欲しい。
- ・ 頑張って欲しい。
- ・ 食堂のメニュー。
- ・ 知識ある人材を育成すること
- ・ 一般教養の内容が高校で習っていることが多いため、大学レベルの業界で使うような内容を学べると良いと思う。
- ・ 座学がたのしくなること。
- ・ 学生課等の重要な講義系や社会人基礎力等の連絡するタイミングを早くして欲しい。掲示板に貼ってあるからそれで大丈夫とは思わないで欲しい。
- ・ 学生が充実した生活ができるように、取り組んで欲しいです。
- ・ 実技。
- ・ 建設業界における知名度と箔。
- ・ iotを推すのであれば建設学科もiotを定着させやすくするためにもCADの授業などは1年次にしても良いと感じる。次のカリキュラムでの3年次は遅すぎると感じる。
- ・ 貴学ならではの实技教育。
- ・ 彩色技法の取り入れ。
- ・ 実技教育の充実性。
- ・ これからも実習の多さなどものづくり大学独自の強みを全面に出して欲しいです。
- ・ 実習を豊富にしてほしい。
- ・ トレーニングジム設置。
- ・ 総合的な基礎能力。
- ・ 即戦力の人材育成とテクノロジストの育成。
- ・ 大手就職先の推薦。
- ・ 企業との提携の充実。
- ・ よかった。
- ・ 専門分野の追求。
- ・ 購買の質・オンライン授業の質。
- ・ 技術の発展。
- ・ 即戦力になる人材の育成。
- ・ さらなる発展。
- ・ 実務能力が備わった人材。
- ・ 学力向上。
- ・ 学食の値下げ。
- ・ 住宅大工についてもっと実践的な授業があればいいなと卒業制作をして感じた。
- ・ 卒検の内容を公開するところ。
- ・ 生徒の建築に対する興味や意欲をより強くする。
- ・ 全て中途半端な所を直せ。
- ・ 実技強化
- ・ リモート授業化。
- ・ 設備環境の向上。
- ・ 設備。
- ・ ものづくり。
- ・ ICTの技術についての講義実習。
- ・ 教育力の強化。
- ・ 発展。
- ・ 実験設備が非常に充実していると感じたので今後よりこれらを活用して欲しい。
- ・ 技実習への取り組み。
- ・ オンラインの強化。
- ・ よかった。
- ・ デジファブ等の授業を追加すべき。経済を学んでも良いのでは。
- ・ ものづくりが大好きな人が集まっている大学なので、その人たちの可能性を広げられる学校でいて欲しいです。
- ・ もっと自由を！
- ・ 名前がもっと広がってほしい。
- ・ 登校時と下校時のシャトルバス。
- ・ 授業の質の向上。
- ・ 楽しい学校生活！
- ・ 名前の変更。
- ・ 実習の種類。
- ・ わくわくかん。
- ・ 大学周辺地域への社会貢献。
- ・ 新規カリキュラムに対応した廊下の授業写真の更新とキャンパスツアーの授業内容部分更新。